

● 統計的思考を用いた地域情報分析研修 ●

実施期間	令和7年8月18日 ~ 令和7年8月19日					
対象者	全職員（※パソコンを持参できる職員）	定員	20人			
目的・内容	データ分析・統計学の基礎知識を身につけるとともに、データに基づいて未来を考えるプロセスを習得する。					
講師（敬称略）	和歌山大学副学長・経済学部教授 足立 基浩					
	9:50	10:00	11:50	12:50	17:00	17:05
8/18 (月)	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 1. データ分析と統計学の基礎知識 2. データに基づいた政策立案について（EBPM） 3. まちづくりのデータとは <ul style="list-style-type: none"> ・地域統計とアンケート ・e-Stat と RESAS <p>（RESAS を用いた時系列・地域間比較）</p>	昼休み	<ul style="list-style-type: none"> 4. 統計分析の手法 <ul style="list-style-type: none"> ・直感とのズレ（特化係数）・Excel を用いた分析手法 ・レートシェア分析・Excel を用いた分析手法 ・分析結果の理解について（グループワーク） 		
8/19 (火)		<ul style="list-style-type: none"> ・地理データについて考える ・Rを使った簡単な分析アプローチ ・人工知能とは何か？概念について学ぶ 	昼休み	<ul style="list-style-type: none"> 5. 地域特徴の分析 実践 6. データから必要な政策を考える 		ふりかえり（アンケート回答）

※「研修で使用する Excel およびインターネット回線を使用するソフトが利用できる」パソコンをさす。インターネットは研修会場にて Wi-Fi に接続できる。